

2019年度活動報告



認定NPO法人
子宮頸がんを考える市民の会

2019年度 活動報告

< 啓発分野 >

【Love49アクション】 厚生労働省後援

■4月9日（子宮の日） 全国アクション

全国**47都道府県**で街頭予防活動を**細胞検査士**を中心に約**1500人**で実施
「LOVE49ニュースレター2019」及び企業協賛サンプル品を7万セット配布



■ 「LOVE49プロジェクト」を大丸・松坂屋各店舗で実施

○大丸須磨店・芦屋店では、「Epicus Flute Duo & Ensemble」,「Muse Trinity」によるミニコンサート、産婦人科専門医による子宮頸がんトークショー、LOVE49KOBE学生広報担当「ときわがかり」による発表、子宮頸がん啓発チラシ等の配布、子宮頸がん啓発パネルの展示、顕微鏡での子宮頸がん細胞標本の観察コーナー等

2019年度活動報告

【Love49アクション】 厚生労働省後援

4月9日（子宮の日） 全国アクション全国**47都道府県**で街頭予防活動を細胞検査士らボランティア約**1500人**で実施
 ニュースレターなど啓発物を配布
 「愛媛新聞」「河北新報」「にいがた経済新聞」「山口新聞」「長崎新聞」への掲載あり



にいがた経済新聞

2019 04.07 「子宮頸がん」を予防する街頭キャンペーン

20代、30代の女性に増えている「子宮頸がん」

子宮頸がん予防・啓発アクション「LOVE49（ラブシキユ）プロジェクト」が7日、新潟市西区の「アピタ新潟西店」と「衛生会新潟第二病院」で開催された。主催は、新潟県細胞検査士会、新潟県臨床細胞学会、（公社）日本臨床細胞学会。共催は、細胞検査士会。後援は、厚生労働省、新潟県産婦人科医会、新潟県臨床細胞学会、新潟県。

4月9日の「子宮頸がんを予防する日（子宮の日）」を控え、全国各地で予防する街頭キャンペーンが行われ、このプロジェクトもその一環として行われた。がん細胞発見のために病院や検査機関で働く医療従事者が、「認定NPO法人「子宮頸がんを考える市民の会」メンバーとして、無料のニュースレター「まもるごと」や啓発グッズを配布していた。

20代で増え始め、30代でピークを迎える「子宮頸がん」だが、早期に発見できれば簡単な治療で治る病気。厚生労働省でも、20歳から2年に1回の子宮頸がん検診を推奨しているが、日本の子宮頸がん検診率は主要先進国と比較して最下位レベルにとどまっている（日本4.2・1%、アメリカ8.4・5%、韓国5.1・7%、日本医師会ホームページより）。

THE YAMAGUCHI SHIMBUN 1名あたり/後援価格 [5/4] 立山荘

山口新聞 ふるさと創生へ県民とともに

¥11,944～ 最新空室 5月4日の空室

[4/21] ホテルフジタ福井 福井駅徒歩5分！ 番公亭・数寄屋近く... 最新空室 4月21日の空室

子宮頸がん検診ぜひ受診して 検査士らが下関で呼び掛け

2019年4月8日(月) 掲載

「子宮の日」（9日）を前に、子宮頸（けい）がん検診の受診を呼び掛ける街頭活動が7日、下関市竹崎町の下関大丸前であった。県内の病院で働く細胞検査士や学生ら約30人が買い物客らに早期発見の重要性を訴えた。

県内の細胞検査士らでつくる県細胞検査士会（岡田宏之会長）の主催。同検査士はがん細胞を発見する専門職で、通り掛かった人にリーフレットやティッシュなどを詰めた啓発グッズ400セットを配り、「ぜひ定期的な検診の受診を」と声を掛けた。

同検査士会などによると、子宮頸がんの発症は20代から増え始め、30代でピークになるが、日本の検診率は約4割で、主要先進国と比較して最下位レベルにあるという。

岡田会長（40）は「子宮頸がんは若い世代の発症が多いが、受診率が低いことが課題。検査は痛みを伴わずにすぐに終わり、定期検診で早期発見できれば早期治療につながる。自分の体を守るとの思いで受診してほしい」と話した。

（新聞社WEBサイトより
記事の一部抜粋）



2019年度活動報告

【WEBサイトリニューアル】

4月9日（子宮の日）より、リニューアルした市民の会のWEBサイトを公開
閲覧者、会員の増加を目指す。チャット機能も導入済み。



3つの活動方針

1 検診受診率の向上

特に20～30代の子宮頸がん検診率
70%以上を目指します。
未受診者に対してコール・リコール
（再受診勧奨）を行うよう求め「受
診勧奨」を増やします。

2 検診の効率化・適正化

子宮頸がん検診の効率化・適正化を
時代に合わせて求めます。
子宮頸がん予防検診を提唱しHPV・
DNA検査完全導入に向けて働きかけ
をし、LBC（液状化検体細胞診）も
含め、検診の「質」を高める事を求
めます。

3 女性の立場に立った対策

女性の立場に立った子宮頸がん対策
を世の中に働きかけます。
特にいつでもどこでも女性が抵抗な
く検診に行けるようハード・ソフト
を「整えていく」体制を構築し、
様々な立場の方々と手を取りながら
子宮頸がんを予防する社会を作りま
す。



【ニュースレターの発行】

「Quarter Life」 7万1千部（16頁のオールカラー冊子）発行



2019年度 活動報告

< 政策提言分野 >

【乳がん・子宮頸がん検診促進議員連盟】

■超党派「乳がん・子宮頸がん検診促進議員連盟」第8回勉強会

日程：4月9日

場所：参議院議員会館

内容：「2018年11月30日に厚生労働大臣に提出した要望書、進展状況についての報告」

厚生労働省がん対策疾病対策課 佐々木課長

「高濃度乳房問題に対応する効率的な検診は？ ～受診者の目線、科学者の目線～」

講師：大貫 幸二先生 岩手県立中央病院 乳腺・内分泌外科

「女性の声が法律とシステムを変えた Are You Dense?®」

乳がん検診“高濃度乳房”告知活動の経緯」講師：増田美加氏 医療ジャーナリスト



2019年度 活動報告

< 政策提言分野 >

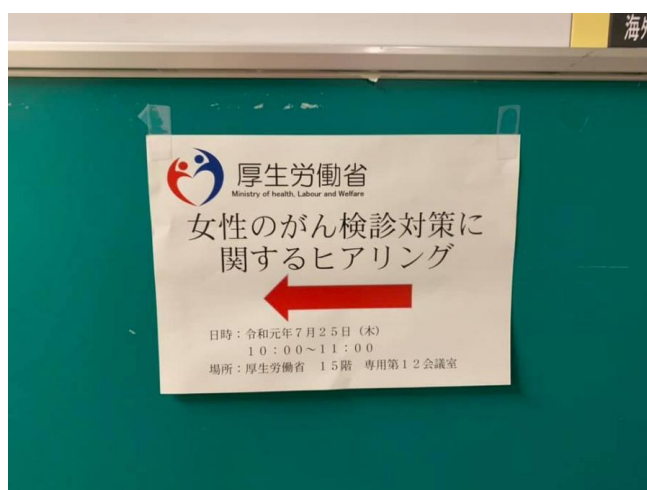
【女性のがん検診対策に関するヒアリング】

日程：7月25日

場所：厚生労働省

内容：議連の際に野田会長より強く要望したヒアリングの会が実現した。

弊会からは田淵副理事長が発表をし、彼女の経験を元に英国と日本の検診システムの差を主に発表した。今後も定期的にヒアリングの機会を求めていく。



【乳がん・子宮頸がん検診促進議員連盟】

■ 超党派「乳がん・子宮頸がん検診検診促進議員連盟」第9回勉強会

日程：12月11日

場所：衆議院議員会館

内容：・2018年要望書提出以降の動き

・7月25日(木)厚労省主催女性だけのヒアリングに関する報告

・厚労省より、がん検診あり方検討会について報告

・その他 来年3月上旬開催予定の議連設立5周年記念イベントについて

2019年度活動報告

【国会議員への個別面談】

■木村やよい衆議院議員と面会

日程：8月と11月

場所：木村事務所 衆議院議員会館

内容：薬師寺みちよ事務局長が選挙の関係で辞任。新事務局長の木村議員と面会。議連発足の経緯や私たちの思いを共有してきました。今後の議連の活動についても意見交換をしてきました。



【厚生労働省がん疾病対策課長への個別面談】

■佐々木課長と面会

日程：5月21日

場所：厚生労働省内喫茶店

内容：女性の意見が反映されるがん検診会議実施について



※詳細は「乳がん・子宮頸がん検診促進議員連盟のFacebookをご覧ください」

2019年度 活動報告

< その他 >

【学会展示など】

【日時】4月11日～14日 日本産科婦人科学会 展示ブース

【場所】名古屋国際会議場

【内容】活動紹介・キーマンとのネットワーク再構築

【日時】6月6日～9日 日本臨床細胞学会春季大会 展示ブース

【場所】京王プラザホテル

【内容】活動紹介・各地域の細胞検査士へ御挨拶

【日時】9月28日～29日 日本婦人科がん検診学会 展示ブース

【場所】奈良春日野国際フォーラム

【内容】活動紹介・子宮頸がん検診に携わる医療者と情報交換

【日時】11月2日～3日 日本女性医学学会学術集会 展示ブース

【場所】Hilton Fukuoka Sea Hawk

【内容】活動紹介・キーマンとのネットワーク再構築

【日時】11月16日～17日 日本臨床細胞学会秋季大会 展示ブース

【場所】岡山コンベンションセンター

【内容】活動紹介・各地域の細胞検査士へ御挨拶

【呼びかけ賛同人】

ミスジャパンファイナリスト達より協力の呼びかけがありました。

LOVE49全国アクション呼びかけ人参加と活動支援案内チラシに掲載協力をして頂きました。



【HPV郵送検査事業】

共同で事業を立ち上げる予定だったジョイフルライフの経営陣刷新により、この事業の継続は行わないこととなった。

2019年度 活動報告

< その他 >

【LOVE49全国アクションに向けたクラウドファンディング成立】

大鵬薬品工業様×READY FORマッチングギフト付きクラウドファンディングに採用される。2020年度LOVE49全国アクションの啓発の中心となるニュースレター制作費として寄附募集。131人より御支援を頂き成立する。

「知らなかったから」で大切な人を失わない未来をつくるために。

認定NPO法人 子宮頸がんを考える市民の会

寄附総額 **2,365,000円** 目標金額 2,000,000円

寄附者 131人 募集終了日 2020年1月31日

プロジェクトは成立しました！

READYFOR SDGs × TAIHO 大鵬薬品

2020年度 活動計画



認定NPO法人
子宮頸がんを考える市民の会

2020年度活動計画

【4月9日 子宮頸がんを予防する日全国アクション】

新型コロナウイルスの影響で中止・延期が決定。
延期については秋以降に実施で調整していると報告を受けている。

【乳がん・子宮頸がん検診促進議員連盟】

2020年3月上旬に設立5周年記念イベントを開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響で延期が決定。6月より応援団共同代表が今後の対応について意見交換をする。

【展示会ブース出展】

以下の学会に状況を見ながらブース出展を予定している

- ・日本臨床細胞学会
- ・思春期学会
- ・日本婦人科がん検診学会

【講演会】

東京医科歯科大学 病理検査学講義
渡部が講演予定

【キッチンと検査プロジェクト（仮）】

ご遺族からの意見により発足。

設立より定期的に子宮頸がん検診を行っていても浸潤がんが発見されて大変な思いをしたという本人やご遺族から何度も連絡を受けている。検診内容・精度の向上を目指す取り組み、国に対して以下を求める。

- ・綿棒の即時使用禁止
- ・HPV検査の実施

子宮頸がん検診の限界（子宮頸部腺がんなど）も同時に伝え100%確実な検査はないこと、当事者もパートナーも、目的や検査内容をキッチンと把握し、理解することを啓発する。